

お玉杓子は蛙の子

ハワイ民謡
今川一彦／東辰三——作詞
灰田勝彦——唄

おたまじゃくしは かえるのこ なまずのまこでは ないわいな それがなにより しょうこには
 ハーノハ—ノ—ワ—バイラ ナ—モ—ク—ウエ—エ—ハ—
 デンむしは—かたつむり さ—えのまこでは ないわいな それがなにより しょうこには
 たこにゅうどうは やっすきあしほ ほ—うきのせがれじゃ ないわいな それがなにより しょうこには
 かせにゆらゆら す—き—ア—マイ ア—ナ—カ—ブ—ア—ナ—ラ ナ—モ—ク—ウエ—エ—ハ—

やがててもでる あしもでる
 ア—ラ—マ—ナ—ケ—ー—ア
 つばやきしよにも できやせぬ
 イカにはちまき できやせぬ
 すずきでドラネコ
 ア—ラ—マ—ナ—

ふたがない ユー レイ—ウ

レイ— オ—ウ— ユ— レイ—ウ— レイ— オ—ウ—

どやされぬ D.S.

ケ ア

[アドリブ演奏]

[注] 昭和15年発売の灰田勝彦唄のオリジナル原盤では1カッこの間奏をトランペット・ソロ、2カッこの間奏をウクレレ・ソロで、4カッこの間奏をトランペット・ソロで、それぞれの楽器の特色を生かしたアドリブ・ソロで演奏しております。